

▶ 第30回目となる今回は、大月短期大学 経済科 1年 富澤優希さんが、株式会社アイウィーヴ 取締役 保坂謙知氏 を取材しました。



経営者

株式会社 アイウィーヴ
取締役
保坂 謙知 氏

興味を持つことの 大切さ!

学生

大月短期大学
経済科

1年 富澤 優希 さん



▶ **学生** 会社概要、事業内容について教えてください。

▶ **経営者**

株式会社アイウィーヴは、2006年7月に設立し今年9年目になりました。

弊社は、幅広いIT分野の中でソフトウェア開発を中心にを行っています。最近ではIP電話のシステム構築やコールセンターのシステム構築などIP電話に関係する開発に加えて、各企業の基幹業務システムなどの企業の業務に必要な管理ソフトウェアの受託開発なども中心業務となっています。

▶ **学生** 採用の際に重視することはありますか。

▶ **経営者**

IT分野の仕事はとても幅が広く、単にプログラムを書くだけではなく、システム設計など様々な能力を要求される仕事です。そのためプログラムを書けることが必須ですが、「コンピュータを使って何かをすることに興味がある」ことがポイントだと考えています。

「学校の授業の課題だからやる」ではなく、「楽しい・興味がある」といった主体性が重要です。そのためには、学生のうちに何か一つでも自分から進んで楽しくできるものを見つけておいて欲しいと思います。

▶ **学生** 学生のうちに取得しておいたほうが良い資格などはありますか。

▶ **経営者**

IT系の資格は大きく分けてIPA系の国家資格とその他

の資格があります。取得しておかなければならないということはありませんが、例えば「基本情報技術者試験」のように出題範囲が広い資格の取得を目指して勉強をすれば、IT業界で仕事をしていく上で必要な知識の幅について理解が深まるのではないかと思います。

▶ **学生** 仕事に対する“姿勢”、“やる気”についてお聞かせください。

▶ **経営者**

趣味としてプログラムを作る場合は自分の行いたいようにできますが、仕事となると時間やコストなど様々な制限が出てきます。また、最終的にはお客様に提供したものが満足していただけるかが重要になってきます。限られた制約の中で、お客様にとって何が一番良いかを常に頭に入れて仕事をし、その結果、お客様に認められ褒めていただくということが自分にとって大きな活力となっています。

プログラムだけでなく、作ったものは誰かに使っても

らって初めて価値が出ますので、まずは使ってもらえるように、そして使ってくれた人が満足してくれるようにと思い描きながら日々仕事に取り組んでいます。

▶ **学生** 御社の将来展望を教えてください。

▶ **経営者**

弊社は、会社設立から8年が経過しましたが、これから10年、20年というスパンを考えると、流れの速いこの情報分野の業界がどのようになるかは正直わかりません。そのため、業界の流れをきちんと見極めながら、一般消費者向けのを足がかりに成長していきたいと考えています。

しかし、その成長も、ただ社員が増えるということに重きを置くのではなく、一人一人の社員が技術面を含め、広い意味での成長をしていきたいと思っています。コンピュータを使う方々にとって、使いやすい良いものを作れるように、またそれを提供し続けられるような成長をしていきたいと思っています。

取材を終えて...

目上の方とお話する機会はありませんでしたがとても緊張していましたが、わかりやすく丁寧に答えていただき、多くのことを聞くことができました。お話を聞く中で、「自分で興味をもつ」ということや「話の本質を理解する」という、自分で考えるということが何よりも大切だと感じました。流れも速く幅広いIT業界の中で求められる成果は大変だと感じましたが、だからこそ自分で流れに乗れるような能力を持つことが大切だとわかりました。

また、資格についても話も伺い、自分が学生のうちに取る資格の参考としながら必要な知識を学んでいきたいと感じました。取材を通して勉強以外にも大切なことがあることを教えていただきました。ありがとうございました。

